

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

平成29年2月時点  
(新規事業)

事業番号	★ D 17 - 8 - 6
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	山田地区復興事業関連鉄道施設(滝野踏切)調査設計事業
全体事業費	9,500 (千円)

【事業概要及び東日本大震災の被害との関係】

山田町の中心市街地を抱える山田地区は、海岸に沿って国道45号、また、国道に並行してJR山田線が存在し、国道沿線や国道とJR山田線の間、JR山田線の西側山間部にかけて市街地が広がっており、他地区への主要動線が国道45号であることなどから、山田地区における交通はJR山田線の横断が欠かせない状況にある。

東日本大震災により被災した当該地区では、JR山田線を挟む従前市街地に津波復興拠点、区画整理を導入して新たなまちづくりによる活性化を図る他、奥地に防集団地を新たに整備することから、山田地区の交通は震災前以上にJR山田線を横断する状況が生じている。

このような状況を踏まえ、町では従前からある山田地区におけるJR山田線の横断施設(踏切道)のうち3箇所で拡幅を伴う整備が必要と考え、町の復興計画において3箇所の踏切道の拡幅整備を盛り込んでいた。

山田地区の3箇所の踏切道のうち、中央に位置する長崎街道踏切、南部に位置する根岸踏切については、区画整理事業における街路計画等によりその位置と拡幅幅を定めているが、北部に位置する踏切道については、当初計画されていた区画整理事業地内の位置での整備が、地区内と地区外の宅地に高低差が生じることから地区外の土地所有者との調整が困難となったため、当初計画の区画整理事業地内の踏切道に代え、北側に現存する踏切道(滝野踏切)の拡幅で対応することとしている。

本事業は鉄道施設(滝野踏切)の規格・規模等の見直しに係る調査設計業務を実施するものである。

【当面の事業概要】

<平成28年度>

調査設計費	9,500千円	(調査設計業務 一式)
事業費合計	9,500千円	

【事業位置図】



【参考】

区分	事業費	内 訳	回答日
提出済額	-		
今回提出額	9,500千円	平成28年度事業費	
合計	9,500千円		